

2019年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

常葉大学動物実験委員会

2020年5月

はじめに

本報告書は、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針(文部科学省告示第71号平成18年6月1日)」(以下、「基本指針」という。)及び「常葉大学における動物実験に関する規程(平成25年4月1日施行)」(以下「規程」という。)に基づき、2019年度における本学の動物実験等の実施に関して「基本指針」及び「規程」への適合性について、自己点検・評価を実施したものである。

常葉大学
学長 江藤 秀一

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

常葉大学における動物実験に関する規程(平成25年4月1日施行)

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

基本指針に適合する「機関内規程」が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検の対象とした資料

常葉大学 各種委員会等の運営に関する細則(平成25年4月1日施行)

常葉大学 動物実験委員会・分会 要綱(平成25年4月1日施行)

常葉大学における動物実験に関する規程(平成25年4月1日施行)

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

基本指針に適合する「動物実験委員会」が適正に設置されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

常葉大学における動物実験に関する規程(平成25年4月1日施行)

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

動物実験委員会において適切に行われている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。

安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。

安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。

該当する動物実験は行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

常葉大学遺伝子組換え実験安全管理規程（平成27年6月22日施行）

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

基本指針に適合する「遺伝子組換え動物実験の実施体制」が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。

概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

常葉大学における動物実験に関する規程(平成25年4月1日施行)

常葉大学遺伝子組換え実験安全管理規程（平成27年6月22日施行）

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書が提出され、承認されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

6. その他

(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

該当なし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

常葉大学 各種委員会等の運営規程(平成30年4月1日制定)
動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

委員会はすべてメール会議にて開催した。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験計画書、結果報告書

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

動物実験委員会において適切に実験計画書の審査・承認が行われた。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験計画書
遺伝子組換え実験計画申請書

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

基本指針に適合した「動物実験」および「遺伝子組換え動物実験」が適正に行われている。

- 4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

- 1) 評価結果
- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
 - 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 - 多くの改善すべき問題がある。
- 2) 自己点検の対象とした資料
動物実験計画書
- 3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
基本指針に適合した「飼養保管」が適正に行われている。
- 4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか?修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

- 1) 評価結果
- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
 - 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 - 多くの改善すべき問題がある。
- 2) 自己点検の対象とした資料
動物飼育実験室入退出記録
第一種圧力容器点検結果報告書(静岡草薙キャンパス動物飼育実験室)
飼育施設内温湿度, 外気温, 露点温度記録データ(静岡草薙キャンパス動物飼育実験室)
- 3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
基本指針に適合した「飼養保管施設」は適正に維持管理が実施されている。
- 4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

- 1) 評価結果
- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
 - 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 - 多くの改善すべき問題がある。

- 2) 自己点検の対象とした資料
生物学実験実習書（静岡草薙キャンパス）
動物実験室利用新規登録申請書（浜松キャンパス）
動物実験室利用 登録更新願（浜松キャンパス）
公私立大学実験動物施設協議会主催の「実験動物管理者の教育訓練」修了証
- 3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
事前に動物実験責任者、動物実験室利用者（学生を含む）に対して、基礎的知識の習得のための教育訓練を実施している。
- 4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

- 1) 評価結果
 - 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
 - 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 - 多くの改善すべき問題がある。
- 2) 自己点検の対象とした資料
平成30年度動物実験に関する自己点検・評価報告書（常葉大学）
- 3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
自己点検・評価が継続的に実施されている。
- 4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

1. 2019年度動物実験が行われたのは、静岡草薙キャンパスおよび浜松キャンパスのみで、静岡瀬名キャンパス、静岡水落キャンパスでは、動物実験は行われなかった。
2. 2019年度の動物実験計画書の承認件数は39件（継続19件、新規20件）だった。
3. 2019年度の実験動物飼養総匹数は、ラット 438匹（静岡草薙キャンパス199匹、浜松キャンパス239匹）、マウス 369匹（静岡草薙キャンパス60匹、浜松キャンパス309匹）だった。
4. 飼養保管施設は、静岡草薙キャンパス2ヶ所（動物飼育室、化学準備室）、浜松キャンパスは5ヶ所（動物飼養保管施設3ヶ所、動物飼育室2ヶ所）であった。